

課題研究作成要領

2019年4月

(一財) 自治体国際化協会

1. 課題研究の位置づけ

課題研究は、「研究計画書の作成」、「課題レポート」の2つから構成されます。

当協会と全国市町村国際文化研修所の共催研修である「多文化共生の実践コース」の内容を踏まえ、各受講者の地域における現状課題及びその解決策等についての研究に取り組むことで、より実践的な多文化共生に係る知識の習得を図るものです。

また、本課題を修了することを「多文化共生マネージャー」認定の要件とします。

2. 作成上の留意点

(1) 作成形式

①作成様式は、WORD または EXCEL とします。

②使用言語は、日本語の以外の母語も可とします。

③図表を用いたものなど添付資料がある場合には、様式に添付可とします。

但し、書面のみで内容が伝わるよう表現を工夫してください。

④課題レポートは、当協会が指定するアドバイザーによるアドバイスが付された後、全受講者分をとりまとめてフィードバックしますので、個人情報の取り扱い等に留意して作成してください。

(2) 各課題への取り組み方

①研究計画書【文字数目安：1,500字程度】

所属、氏名	課題に取り掛かる前に忘れずに記入してください。
課題研究名	「多文化共生の実践コース（前期）」（以下「前期研修」）の受講を通して関心を持った分野について、課題研究テーマを設定してください。 (例) ○○市における災害時の外国人支援 ○○町における外国人の就労支援施策等
地域における外国人住民の実態・課題の把握	上記で設定したテーマについて、各地域における実態をご記入ください。
課題の分析	上記で設定した課題について、そのような現状となっている背景や障害となっている要因等についてご記入ください。
今後の調査事項	上記課題の解決策を検討する上で、今後取り組みたい事項(先進自治体関係者への聞き取り調査、文献調査等)についてご記入ください。

②課題レポート【文字数目安：5,000字程度】

所属、氏名	課題に取り掛かる前に忘れずに記入してください。
課題研究名	上記①で設定したテーマをご記入ください。
地域における外国人住民の実態・課題の把握	上記①での内容に加え、「多文化共生の実践コース（後期）」（以下後期研修）や追加調査で得られた知見等を踏まえてご記入ください。
課題の分析	上記①での内容に加え、後期研修や追加調査で得られた知見等を踏まえてご記入ください。
課題解決に必要な取組の企画	後期研修や追加調査で得られた知見等を踏まえ、地域における課題を解決する上で必要な取組みを企画してください。
課題研究結果の業務への活用	今回の課題研究について、今後の自らの業務や地域活動への活用可能な点をご記入ください。

(3) 提出方法

課題研究①、②について、それぞれ下記提出期間中に、電子メールで下記担当までご提出ください。

①研究計画書：前期研修終了後～2019年8月16日（金）まで

②課題レポート：後期研修終了後～2019年10月4日（金）まで

【提出先】

(一財) 自治体国際化協会 多文化共生部 多文化共生課 早坂

E-mail: tabunka@clair.or.jp